



日本エアロゾル学会主催
エアロゾルシンポジウムシリーズ

小型センサを用いた 大気計測の基礎と応用

日時: 2024年4月18日(木) 16:30-18:00

開催方式: 完全オンライン(要事前登録)

参加費: 無料

参加登録は以下のリンクから

<https://sites.google.com/view/jaast-symposium-series/home>

Sponsored by



エアロゾルシンポジウムシリーズは、日本エアロゾル学会が主催するオンラインシンポジウムです。学会員の資格を問わずにどなたでも参加できます。今回のシンポジウムは、東京ダイレック株式会社様(<https://www.t-dylec.net/>)のご支援により開催します。

講師: 長崎大学 準教授 中山 智喜

主な経歴

2006年 博士(理学)(名古屋大学)

2010-12年 日本エアロゾル学会若手会会代表

2012-16年 日本エアロゾル学会誌編集委員

2015年 日本エアロゾル学会奨励賞

2018年 文部科学大臣表彰 若手科学者賞

2019年 Asian Young Aerosol Scientist Award



2023.11@Ghana

近年、PM_{2.5}などのエアロゾル粒子や大気微量気体(CO, CO₂, NO_x, O₃など)を計測できる小型センサの開発が進められており、多地点観測による局所発生源の検出や輸送・拡散状況の解析、作業環境や室内大気汚染のモニタリング、インフラや治安面などから大型装置での観測が難しい途上国での観測などへの応用が期待されています。また、センサを持ち運びながらモバイル測定を行うことで、大気汚染物質の分布状況を詳細に把握したり、疫学・公衆衛生分野などで有用な個人曝露量を得ることも可能です。本講演では、小型センサの原理や性能評価試験、国内外での多地点観測やモバイル計測への応用例について紹介します。